

平成 2 1 年度

県立病院事業会計決算（見込み）の概要

平成 2 2 年 8 月

1. 病院事業全体

① 収支について

(単位：百万円、%)

区 分	21年度決算	21年度計画	増減(計画比)	増減率	20年度実績	増減(実績比)	増減率
病院事業収益	25,474	27,346	▲ 1,871	▲ 6.8	25,967	▲ 492	▲ 1.9
医業収益	21,785	23,949	▲ 2,164	▲ 9.0	22,317	▲ 531	▲ 2.4
入院収益	16,954	18,541	▲ 1,586	▲ 8.6	17,448	▲ 494	▲ 2.8
外来収益	3,677	4,370	▲ 693	▲ 15.9	3,683	▲ 5	▲ 0.2
一般会計繰入金	816	617	198	32.1	838	▲ 21	▲ 2.6
その他	336	421	▲ 85	▲ 20.2	346	▲ 10	▲ 2.9
医業外収益	3,689	3,397	292	8.6	3,650	39	1.1
一般会計繰入金	3,566	3,328	237	7.1	3,545	21	0.6
その他	122	69	53	77.4	104	18	17.3
病院事業費用	26,603	27,741	▲ 1,137	▲ 4.1	26,836	▲ 232	▲ 0.9
医業費用	25,023	26,005	▲ 981	▲ 3.8	25,240	▲ 217	▲ 0.9
給与費	12,654	12,352	302	2.4	12,632	21	0.2
材料費	6,252	6,902	▲ 649	▲ 9.4	6,471	▲ 219	▲ 3.4
(うち医療材料費)	6,053	6,669	▲ 616	▲ 9.2	6,255	▲ 202	▲ 3.2
経費	3,464	4,278	▲ 813	▲ 19.0	3,445	19	0.6
減価償却費	2,510	2,337	173	7.4	2,541	▲ 31	▲ 1.2
その他費用	140	137	2	1.5	148	▲ 7	▲ 5.3
医業外費用	1,580	1,736	▲ 156	▲ 9.0	1,595	▲ 15	▲ 1.0
支払利息	873	1,041	▲ 167	▲ 16.0	905	▲ 31	▲ 3.5
その他	706	695	10	1.4	690	16	2.4
収支差	▲ 1,128	▲ 395	▲ 733	—	▲ 868	▲ 259	—

※ 端数処理の関係で内訳と合計、増減が一致しないことがある。増減率は、千円単位で計算した率。

② 患者数について

(単位：人、%)

区 分	21年度決算	21年度計画	増減(計画比)	増減率	20年度実績	増減(実績比)	増減率
延入院患者数	355,486	438,730	▲ 83,244	▲ 19.0	376,703	▲ 21,217	▲ 5.6
宮崎病院	154,778	192,720	▲ 37,942	▲ 19.7	164,629	▲ 9,851	▲ 6.0
延岡病院	116,587	151,110	▲ 34,523	▲ 22.8	128,640	▲ 12,053	▲ 9.4
日南病院	84,121	94,900	▲ 10,779	▲ 11.4	83,434	687	0.8
延外来患者数	317,651	475,551	▲ 157,900	▲ 33.2	354,540	▲ 36,889	▲ 10.4
宮崎病院	156,916	180,306	▲ 23,390	▲ 13.0	167,790	▲ 10,874	▲ 6.5
延岡病院	75,285	148,230	▲ 72,945	▲ 49.2	91,633	▲ 16,348	▲ 17.8
日南病院	85,450	147,015	▲ 61,565	▲ 41.9	95,117	▲ 9,667	▲ 10.2

③ 特記事項（病院事業全体）

病院事業全体の収支は、11億2,800万円余の赤字
医師不足による休診科の影響等により、中期経営計画目標を下回る結果となった。

- ・収 支 (計画比 ▲7億3,300万円余)
(前年度比 ▲2億5,900万円余)

延患者数は、入院、外来ともに計画を下回っており、前年度より減となった。

- ・延入院患者数 (計画比 ▲83,244人 ▲19.0%)
(前年度比 ▲21,217人 ▲5.6%)
- ・延外来患者数 (計画比 ▲157,900人 ▲33.2%)
(前年度比 ▲36,889人 ▲10.4%)

病院事業収益は、計画比では、入院、外来ともに計画を下回ったことにより、
18億7,100万円余下回る結果となった。
また、前年度比では、主に入院収益が前年度を下回ったことにより、
4億9,200万円余の減となった。

- ・入院収益 (計画比 ▲15億8,600万円余)
(前年度比 ▲4億9,400万円余)
- ・外来収益 (計画比 ▲6億9,300万円余)
(前年度比 ▲500万円余)

病院事業費用は、計画比では、材料費、経費等が計画を下回ったため、
11億3,700万円余下回る結果となった。
また、前年度比では、材料費の減等により2億3,200万円余の減となった。

- ・給与費 (計画比 +3億200万円余)
(前年度比 +2,100万円余)
※退職給与金(前年度比) ▲2億9,800万円余
- ・材料費 (計画比 ▲6億4,900万円余)
(前年度比 ▲2億1,900万円余)
※医療材料費(前年度比) ▲2億200万円余
- ・経費 (計画比 ▲8億1,300万円余)
(前年度比 +1,900万円余)

2. 病院別

(1) 宮崎病院

① 収支について

(単位：百万円、%)

区 分	21年度決算	21年度計画	増減(計画比)	増減率	20年度実績	増減(実績比)	増減率
病院事業収益	11,619	11,459	160	1.4	11,630	▲ 10	▲ 0.1
医業収益	9,920	9,937	▲ 17	▲ 0.2	9,947	▲ 27	▲ 0.3
入院収益	7,618	7,832	▲ 214	▲ 2.7	7,640	▲ 21	▲ 0.3
外来収益	1,819	1,735	84	4.8	1,775	43	2.4
一般会計繰入金	348	244	104	42.8	395	▲ 47	▲ 12.0
その他	133	126	7	5.8	134	0	▲ 0.7
医業外収益	1,699	1,522	177	11.6	1,683	16	1.0
一般会計繰入金	1,646	1,482	164	11.1	1,625	20	1.3
その他	53	41	12	30.7	58	▲ 4	▲ 7.4
病院事業費用	11,467	11,646	▲ 179	▲ 1.5	11,620	▲ 153	▲ 1.3
医業費用	11,107	11,175	▲ 68	▲ 0.6	11,259	▲ 152	▲ 1.4
給与費	5,768	5,696	72	1.3	5,811	▲ 43	▲ 0.7
材料費	3,033	2,844	189	6.6	3,106	▲ 72	▲ 2.3
(うち医療材料費)	2,945	2,736	209	7.7	3,010	▲ 64	▲ 2.2
経費	1,475	1,934	▲ 459	▲ 23.7	1,519	▲ 44	▲ 2.9
減価償却費	771	637	134	21.1	755	16	2.1
その他	57	64	▲ 7	▲ 10.9	65	▲ 8	▲ 12.3
医業外費用	360	471	▲ 111	▲ 23.5	361	▲ 1	▲ 0.4
支払利息	81	200	▲ 119	▲ 59.6	67	13	19.7
その他	278	270	8	2.8	293	▲ 14	▲ 5.1
収支差	152	▲ 186	338	—	9	142	—

※ 端数処理の関係で内訳と合計、増減が一致しないことがある。増減率は、千円単位で計算した率。

※ 宮崎病院の前年度比較に用いている前年度数値には、富養園の数値を含んでいる。

② 経営指標について

区 分	21年度決算	21年度計画	増減(計画比)	増減率	20年度実績	増減(実績比)	増減率
1. 病床利用率 (%)	77.1	H22 90.0以上	▲ 12.9	—	79.4	▲ 2.3	—
2. 平均在院日数 (日)	17.0	H22 17.0以下	0.0	—	18.0	▲ 1.0	—
3. 患者一日あたり診療収入(円)							
(1) 入院	49,224	H22 43,000以上	6,224	—	46,411	2,813	6.1
(2) 外来	11,593	H22 9,500以上	2,093	—	10,584	1,009	9.5
4. 医業収益に対する割合 (%)							
(1) 職員給与費	58.1	57.3	0.8	—	58.4	▲ 0.3	—
(2) 医療材料費	29.7	27.5	2.2	—	30.3	▲ 0.6	—
5. 経常収支比率 (%)	101.3	98.4	2.9	—	100.1	1.2	—

③ 特記事項

宮崎病院 ～ 1億5,200万円余の黒字
(対計画比 +3億3,800万円余、対前年度比 +1億4,200万円余)

〔概要〕

○ 患者数 … 入院、外来ともに、計画及び前年度を下回った。

- ・延入院患者数 (計画比 ▲37,942人 ▲19.7%)
(前年度比 ▲9,851人 ▲6.0%)
- ・延外来患者数 (計画比 ▲23,390人 ▲13.0%)
(前年度比 ▲10,874人 ▲6.5%)

※ 医療の棲み分けが進み、軽症患者が地域の医療機関に回ったこと等による。

○ 収益 … 入院は、計画及び前年度を下回った。 外来は、計画及び前年度を上回った。

- ・入院収益 (計画比 ▲2億1,400万円余)
(前年度比 ▲2,100万円余)
※ 単価は計画及び前年度を上回ったが、患者数減の影響が大きかった。
- ・外来収益 (計画比 +8,400万円余)
(前年度比 +4,300万円余)
※ 単価が計画及び前年度を上回った。

○ 費用 … 給与費は、計画より多く、前年度より減った。 材料費は、計画より多く、前年度より減った。 経費は、計画より少なく、前年度より減った。

- ・給与費 (計画比 +7,200万円余)
(前年度比 ▲4,300万円余)
※ 退職給与金の減等により、前年度より減少した。
- ・材料費 (計画比 +1億8,900万円余)
(前年度比 ▲7,200万円余)
※ 薬品費、診療材料費の減等により、昨年度より減少した。
- ・経費 (計画比 ▲4億5,900万円余)
(前年度比 ▲4,400万円余)
※ 富養園が閉園し、宮崎病院内に精神医療センターが併設されたことにより、トータルでの経費が減った。

〔診療機能の見直し等〕

- DPCの導入
診療報酬を包括で請求するDPCを導入し、医療の標準化・透明化を図り質の向上に努めた。(4月)
- 精神医療センターの整備
急性期治療や身体合併症治療など、民間医療機関では対応困難な診療機能を備え、精神疾患に関する全県レベルの中核病院として整備した。(4月)
- 外来化学療法の実施
病床数を増加し、外来化学療法の実施を図った。(3月)
(H20 8床 → H21 15床)

(2) 延岡病院

① 収支について

(単位：百万円、%)

区 分	21年度決算	21年度計画	増減(計画比)	増減率	20年度実績	増減(実績比)	増減率
病院事業収益	8,467	9,960	▲ 1,493	▲ 17.6	9,098	▲ 631	▲ 6.9
医業収益	7,310	8,886	▲ 1,576	▲ 17.7	7,965	▲ 655	▲ 8.2
入院収益	6,012	7,102	▲ 1,090	▲ 15.3	6,543	▲ 530	▲ 8.1
外来収益	907	1,405	▲ 498	▲ 35.4	1,013	▲ 105	▲ 10.4
一般会計繰入金	270	236	34	14.3	279	▲ 8	▲ 3.1
その他	119	143	▲ 24	▲ 16.8	129	▲ 9	▲ 7.6
医業外収益	1,156	1,073	83	7.7	1,132	23	2.1
一般会計繰入金	1,103	1,053	50	4.8	1,097	6	0.6
その他	52	21	31	152.8	35	17	49.1
病院事業費用	9,322	10,057	▲ 735	▲ 7.3	9,599	▲ 276	▲ 2.9
医業費用	8,550	9,281	▲ 731	▲ 7.9	8,834	▲ 284	▲ 3.2
給与費	4,218	4,058	160	4.0	4,305	▲ 86	▲ 2.0
材料費	2,081	2,831	▲ 750	▲ 26.5	2,271	▲ 189	▲ 8.3
(うち医療材料費)	2,016	2,755	▲ 739	▲ 26.8	2,199	▲ 182	▲ 8.3
経費	1,176	1,337	▲ 161	▲ 12.0	1,149	26	2.3
減価償却費	1,029	1,013	16	1.6	1,060	▲ 30	▲ 2.9
その他	43	43	0	0.9	48	▲ 4	▲ 8.7
医業外費用	772	775	▲ 3	▲ 0.4	765	7	1.0
支払利息	486	501	▲ 15	▲ 3.0	517	▲ 30	▲ 5.9
その他	285	274	11	4.1	247	38	15.3
収支差	▲ 855	▲ 97	▲ 758	—	▲ 501	▲ 354	—

※ 端数処理の関係で内訳と合計、増減が一致しないことがある。増減率は、千円単位で計算した率。

② 経営指標について

区 分	21年度決算	21年度計画	増減(計画比)	増減率	20年度実績	増減(実績比)	増減率
1. 病床利用率 (%)	77.2	90.0	▲ 12.8	—	77.3	▲ 0.1	—
2. 平均在院日数 (日)	17.7	H22 14.0以下	3.7	—	17.1	0.6	—
3. 患者一日あたり診療収入(円)							
(1) 入院	51,572	47,000	4,572	9.7	50,867	705	1.4
(2) 外来	12,054	9,400	2,654	28.2	11,056	998	9.0
4. 医業収益に対する割合(%)							
(1) 職員給与費	57.7	45.7	12.0	—	54.0	3.7	—
(2) 医療材料費	27.6	31.0	▲ 3.4	—	27.6	0.0	—
5. 経常収支比率 (%)	90.8	99.0	▲ 8.2	—	94.8	▲ 4.0	—

③ 特記事項

延岡病院 ～ 8億5,500万円余の赤字
(対計画比 ▲7億5,800万円余、対前年度比 ▲3億5,400万円余)

〔概要〕

○ 患者数 … 入院、外来ともに、計画及び前年度を下回った。

- ・延入院患者数 (計画比 ▲34,523人 ▲22.8%)
(前年度比 ▲12,053人 ▲9.4%)
- ・延外来患者数 (計画比 ▲72,945人 ▲49.2%)
(前年度比 ▲16,348人 ▲17.8%)
※ コンビニ受診の自粛と休診科の影響により患者数が減った。

○ 収益 … 入院、外来ともに、計画及び前年度を下回った。

- ・入院収益 (計画比 ▲10億900万円余)
(前年度比 ▲5億3,000万円余)
※ 単価は計画及び前年度を上回ったが、患者数減の影響が大きかった。
- ・外来収益 (計画比 ▲4億9,800万円余)
(前年度比 ▲1億500万円余)
※ 単価は計画及び前年度を上回ったが、患者数減の影響が大きかった。

○ 費用 … 給与費は、計画より多かったが、前年度より減った。 材料費は、計画より少なく、前年度より減った。 経費は、計画より少なかったが、前年度より増えた。

- ・給与費 (計画比 +1億6,000万円余)
(前年度比 ▲8,600万円余)
※ 退職給与金の減等により、前年度より減少した。
- ・材料費 (計画比 ▲7億5,000万円余)
(前年度比 ▲1億8,900万円余)
※ 薬品費、診療材料費の減等により、昨年度より減少した。
- ・経費 (計画比 ▲1億6,100万円余)
(前年度比 +2,600万円余)
※ 診療材料調達業務委託に係る成功報酬の増等により、昨年度より増加した。

〔診療機能の見直し等〕

- 地域医療機関との協力・連携
延岡市医師会との連携により、これまでの消化管出血に加え、脳梗塞患者についても、地域の医療機関による輪番制で対応することとなった。(4月)
- 糖尿病看護外来の開設
糖尿病に関する患者からの相談に対応するため、糖尿病看護認定看護師による看護外来を開設した。(4月)

(3) 日南病院

① 収支について

(単位：百万円、%)

区 分	21年度決算	21年度計画	増減(計画比)	増減率	20年度実績	増減(実績比)	増減率
病院事業収益	5,387	5,927	▲ 540	▲ 10.0	5,237	149	2.9
医業収益	4,554	5,126	▲ 572	▲ 11.2	4,404	150	3.4
入院収益	3,323	3,606	▲ 283	▲ 7.9	3,264	58	1.8
外来収益	950	1,230	▲ 280	▲ 22.8	894	56	6.3
一般会計繰入金	197	137	60	43.6	163	34	21.1
その他	82	152	▲ 70	▲ 46.2	82	0	0.8
医業外収益	832	801	31	3.9	833	0	▲ 0.1
一般会計繰入金	816	793	23	2.8	822	▲ 5	▲ 0.7
その他	16	7	9	116.8	11	4	44.4
病院事業費用	5,813	6,039	▲ 226	▲ 3.7	5,615	197	3.5
医業費用	5,365	5,549	▲ 184	▲ 3.3	5,146	219	4.3
給与費	2,668	2,598	70	2.7	2,516	152	6.0
材料費	1,136	1,227	▲ 91	▲ 7.4	1,094	42	3.9
(うち医療材料費)	1,090	1,179	▲ 89	▲ 7.5	1,045	45	4.4
経費	813	1,007	▲ 194	▲ 19.2	776	37	4.8
減価償却費	708	687	21	3.1	725	▲ 16	▲ 2.3
その他	38	31	7	23.8	34	4	12.9
医業外費用	447	490	▲ 43	▲ 8.8	468	▲ 21	▲ 4.6
支払利息	305	339	▲ 34	▲ 10.1	320	▲ 14	▲ 4.6
その他	142	151	▲ 9	▲ 6.0	148	▲ 6	▲ 4.5
収支差	▲ 425	▲ 112	▲ 313	—	▲ 377	▲ 48	—

※ 端数処理の関係で内訳と合計、増減が一致しないことがある。増減率は、千円単位で計算した率。

② 経営指標について

区 分	21年度決算	21年度計画	増減(計画比)	増減率	20年度実績	増減(実績比)	増減率
1. 病床利用率 (%)	82.0	92.9	▲ 10.9	—	81.3	0.7	—
2. 平均在院日数 (日)	19.2	H22 19.0以下	0.2	—	17.8	1.4	—
3. 患者一日あたり診療収入(円)							
(1) 入院	39,505	38,000	1,505	4.0	39,128	377	1.0
(2) 外来	11,128	8,300	2,828	34.1	9,401	1,727	18.4
4. 医業収益に対する割合 (%)							
(1) 職員給与費	58.6	50.7	7.9	—	57.1	1.5	—
(2) 医療材料費	23.9	23.0	0.9	—	23.7	0.2	—
5. 経常収支比率 (%)	92.7	98.1	▲ 5.4	—	93.3	▲ 0.6	—

③ 特記事項

日南病院 ～ 4億2,500万円余の赤字
(対計画比 ▲3億1,300万円余、対前年度比 ▲4,800万円余)

〔概要〕

- **患者数** … 入院は、計画は下回ったが、前年度を上回った。
外来は、計画及び前年度を下回った。
 - ・延入院患者数 (計画比 ▲10,779人 ▲11.4%)
(前年度比 + 687人 + 0.8%)
 - ・延外来患者数 (計画比 ▲61,565人 ▲41.9%)
(前年度比 ▲9,667人 ▲10.2%)
※ 産婦人科で異常分娩による長期入院が多かったこと等により入院患者数が増え、地域の医療機関との連携が進んだこと等により外来患者数が減った。

- **収益** … 入院、外来ともに、計画は下回ったが、前年度を上回った。
 - ・入院収益 (計画比 ▲2億8,300万円余)
(前年度比 + 5,800万円余)
※ 単価は計画及び前年度を上回り、患者数も前年度より増えた。
 - ・外来収益 (計画比 ▲2億8,000万円余)
(前年度比 + 5,600万円余)
※ 単価が計画及び前年度を上回った。

- **費用** … 給与費は、計画より多く、前年度より増えた。
材料費は、計画より少なかったが、前年度より増えた。
経費は、計画より少なかったが、前年度より増えた。
 - ・給与費 (計画比 + 7,000万円余)
(前年度比 + 1億5,200万円余)
※ 医師の初任給調整手当の増等に加え、退職給与金も前年度より増えた。
 - ・材料費 (計画比 ▲9,100万円余)
(前年度比 + 4,200万円余)
※ 前年度よりも患者数が増えたことに加え、抗がん剤等高額医薬品の使用量が増えた。
 - ・経費 (計画比 ▲1億9,400万円余)
(前年度比 + 3,700万円余)
※ ベッドキャスター、建物関連等の修繕費が前年度より増加した。

〔診療機能の見直し等〕

- DPCの導入
診療報酬を包括で請求するDPCを導入し、医療の標準化・透明化を図り質の向上に努めた。(7月)

- 地域連携の強化
365日体制の「日南市初期夜間急病センター」が開設され、県南地域における初期救急医療体制の整備が進んだことにより、2次救急医療の中核を担う日南病院との救急医療に対する地域連携の強化が図られた。(8月)

- 院内組織体制の強化
業務担当の副院長を新たに設置し、副院長2名体制で業務体制の強化を図るとともに、医療企画部を医療管理部に改め、医療事故の未然防止に向けた安全対策の強化及び医療連携の充実を図った。(4月)